

小さな虫歯の詰め物（インレー）

◎それぞれの材質の違いと特徴

	特徴	見た目	金額（税別）
メタル（保険の金属） 	12%パラジウム合金使用	<ul style="list-style-type: none">・銀色で光が当たると口の中でやや目立つ（黒っぽく見える）・銀の成分が多いので、将来錆びて黒く変色する場合もある	保険適用
ゴールド 	封鎖性、強度、生体親和性に優れる	<ul style="list-style-type: none">・金色のため口の中では銀色よりも目立ちにくい・金は安全性の高い金属なので、月日が経っても錆びたり変色することはない	2万円
硬質レジン 	金属アレルギーでも安心	<ul style="list-style-type: none">・色が白く目立ちにくい・安く白くしたい方向き・欠けや割れ、摩耗が起こる場合がある	2万5千円
ポーセレン 	強度が高く、見た目も綺麗	<ul style="list-style-type: none">・透明感、つやが美しく最も天然に近い・審美性を求める人におすすめ	3万5千円

◎選ぶ時のポイント

1. 歯を長持ちさせるためには、歯と詰め物とのすき間から虫歯にならないような詰め物を入れるのが理想です。
2. 歯材料によって見た目の色が違ってきます。

大きな虫歯のかぶせ物（クラウン・奥歯）

◎それぞれの材質の違いと特徴

	特徴	長所	短所	金額（税別）	保証期間
保険銀合金 	外側が陶材とレジン の混合物で、内側が 金属となっている。	・保険適用のため価格 が抑えられる	・変色する ・金属アレルギーが出る ことがある ・歯垢がつきやすい	保険適用	2年
ジルコニア (CAD/CAM) 	全てが陶材 (セラミック)	・耐久性が高く、長期 的に使用できる	・色の種類が限られてお り、横の歯との色を完全 に合わせる事が難しい	5万円	5年
ハイブリッド 	レジンとセラミック を混ぜ合わせた素材。	・保険適用の素材より 変色しにくい ・セラミックより安価	・セラミックより透明感 が劣る ・保険使用不可	5万5千- 7万円	5年
メタルボンド 	中身が金属で外から 見える部分に白い陶 材（セラミック）が 焼き付けてある。	・天然色に近い ・透明性が高い	・保険使用不可 ・金属アレルギーが出る ことがある	8万-15万円	5年
ジルコニア 	ジルコニアセラミッ クの上にセラミック を焼き付けて作成	・天然歯に近い ・透明感の再現 ・審美的に最も優れて いる	・保険使用不可	10万円	5年

※ジルコニア（CAD/CAM）とジルコニアは別物です。

大きな虫歯のかぶせ物（クラウン・前歯）

◎それぞれの材質の違いと特徴

	特徴	長所	短所	金額（税別）	保証期間
保険銀合金 	外側が陶材とレジン の混合物で、内側が 金属となっている。	・保険適用のため価格 が抑えられる	・変色する ・金属アレルギーが出る ことがある ・歯垢がつきやすい	保険適用	2年
ジルコニア (CAD/CAM) 	全てが陶材 (セラミック)	・耐久性が高く、長期 的に使用できる	・色の種類が限られてお り、横の歯との色を完全 に合わせる事が難しい	5万円	5年
ハイブリッド 	レジンとセラミック を混ぜ合わせた素材。	・保険適用の素材より 変色しにくい ・セラミックより安価	・セラミックより透明感 が劣る ・保険使用不可	5万5千- 7万円	5年
メタルボンド 	中身が金属で外から 見える部分に白い陶 材（セラミック）が 焼き付けてある。	・天然色に近い ・透明性が高い	・保険使用不可 ・金属アレルギーが出る ことがある	8万-15万円	5年
ジルコニア 	ジルコニアセラミッ クの上にセラミック を焼き付けて作成	・天然歯に近い ・透明感の再現 ・審美的に最も優れて いる	・保険使用不可	10万円	5年

※ジルコニア（CAD/CAM）とジルコニアは別物です。